



つち
「槌打ちの儀」の様子

小峰城清水門復元工事 かわら版第4号



「餅まき」の様子

～上棟式が行われました～

2025年9月28日に清水門の「上棟式」が行われました。柱や梁、桁といった木組みが完成した節目に行われる伝統的な儀式です。屋根を支える棟木を強く打ち込む神事の「槌打ちの儀」や上棟を大勢で祝う「餅まき」が行われて、今後の良好な工事の進行も祈願されました。

～清水門の大きさが実感できます～

清水門の木組みが出来あがり、屋根の瓦葺き、その後は壁塗りといった各部の工事が引き続き進められています。清水門を囲うように設けられた工事現場の養生シートには、原寸大で完成イメージがプリントされていて、現地でその大きさが確認できます。



原寸大の清水門がプリントされた工事現場の様子



「小峰城清水門復元工事かわら版 第4号」2025年12月発行

※本紙は白河市と連携し、東北工業大学 建築史研究室が制作しています。

〔工事・工程の問合せ〕白河市建設部文化財課 史跡整備係 tel 0248-22-1111 (代) 内線 2230

〔本紙に関する問合せ〕東北工業大学 建築学部 建築史研究室 (中村研) tel 022-305-3611